

うみねこ商店街でお花見イベント 気軽に来れる商店街目指し

5月13日、うみねこ商店街でお花見イベントが行われました。イベントには、商店街の事業者を含む24団体が出店。また、南小児童の虎舞や山田大神楽の舞、商工会女性部の読み聞かせなども行われ、多くの買い物客で賑わいました。今回が初めての開催となるこのイベント。同商店街の代表を務める大手恵美子さんは「皆が元気になるような楽しいイベントを目指した。気軽に来てもらえるような商店街にするため、今後もイベントを企画していきたい」と、意気込みを語りました。



カゴいっぱい収穫に大満足 露地物シイタケ狩りに42人

4月30日、シイタケ生産者の芳賀隆^{たかし}さんのほだ場で、露地物シイタケ狩りイベントが行われました。この日は、町内外から42人が参加。カゴいっぱいになるまで、シイタケの収穫体験を楽しみました。収穫後は、植菌体験や乾しいたけのつかみ取りを実施。また、体験会場にはバーベキューコーナーも用意され、各自持ち寄った食材とともに、収穫した肉厚のシイタケを楽しみました。昨年に引き続き開催された収穫体験。今回は、家族連れでの参加も多く、大型連休を満喫していました。

共生社会の実現へ向けて ジョブ・パートナー山田開所

4月30日、就労継続支援B型事業所「ジョブ・パートナー山田」の開所式が、飯岡地区の同施設敷地内で行われました。同施設は、やまだ共生作業所に続いて町内2カ所目のB型事業所となります。佐藤町長は「この施設が、障がいを持つ人の支えとなり、共生社会の実現に進んでいくことを祈っています」とあいさつ。その後、事業所で作成したカッティンググラスで乾杯し、開所を祝いました。式で利用者は「ここで多くを学び、精進していきます」と力を込めていました。



町の外国語指導助手と交流 楽しく学ぼう！英会話

5月10日、町中央コミュニティセンター2階集会室で英会話教室が行われました。講師を務めるのは、町の外国語指導助手であるアネマリー・ブロム^{やちひろ}さんと矢後千紘^{ちひろ}さん。この日は、大人から子どもまで15人が参加しました。前半は、簡単な自己紹介の方法を勉強。参加者は戸惑いながらも英会話に挑戦しました。後半は、大人はより詳しく自己紹介の方法を、子どもは動物の英語名を学び、菊地柚良^{ゆり}さん（船越小3年）は「難しいけど英語は楽しい。話せるようになりたい」と笑顔を見せました。



町のわだい

今月の題字 館下 ^{りょうた} 涼太君（織笠小2年）



集落に活気を取り戻す そとやまの山菜まつり開催

5月20日、織笠外山地区で「そとやまの山菜まつり」が行われました。当日は、開始直後から多くの人が詰めかけ、用意した山菜は完売。よもぎ餅や豚汁などのお振る舞いや樹種当てクイズなども好評で、大盛況に終わりました。「集落に活気を取り戻したい」と、織笠地区出身で栃木県在住の坂本忠男さんが声を上げて始まったこのイベント。町内で募集したボランティアの皆さんの協力もあり、開催に至りました。坂本さんは「多くの人に来てもらった。今後も続けていければ地域の活性化につながる」と、イベントの開催に手応えを感じていました。



山田交番で開所式行われる 公共防災エリア形になる

4月23日、飯岡地区で山田交番（倉沢利広^{としひろ}所長）の開所式が行われました。式には関係者など約40人が出席。津波で全壊した旧交番の移転新築を祝いました。県警の島村本部長は「交番は地域の発展・復興に貢献できます」と力強く話しました。

同交番が移転した飯岡地区の公共防災エリアには、県立山田病院と山田消防署が隣接。災害時にはスムーズに連携が取れます。また、今後、全線開通予定の細浦柳沢線を通ることで、津波発生時にも浸水の影響を受けずに出勤可能となります。

